



M.G.V.
MATSUSHITA
GREEN
VOLUNTEER.

緑は地球の生命です。「いま地球に、私たちができること」

MGV通信[グリーンエコー]

2007-2-5:号外 松下グリーンボランティア倶楽部

ビオトープ[ささやまの小さな自然]通信 第62号 今号は2ページです

おかげさまで誕生5年、6年目の春を迎えます

四季移りと自然の育ちはいつも新鮮だ！



改装中だった松下電器労組本部(現松下電器労連)事務所の横、MGV仲間の手づくりで建設中のビオトープ(2002年1月)

2002年2月5日、松下電器労組が本部事務所、ミュージアムへ移転に合わせ、MGV仲間の手づくりしたビオトープ「ささやまの小さな自然」が誕生しました。今年で満4年、5年目の春を迎えます。

わずか450㎡の小さな自然ですが、山野草や里山木を合わせて160種を超える植生と、メダカ、トンボ、チョウなどが生息、メジロ、セキレイも飛来しています。小さいながら里山の風物を再現、季節の彩りとふれあいながら、田植え、イネ刈りなど農業体験もできる自然共生ゾーンになりました。年ごと新たな自然との出会いが楽しみです。



誕生間もない春(上:2002年4月)と5年目の夏(下:2006年8月)、田んぼのミドリも鮮やかに「ここだけの田舎風景」のビオトープ



四季の季節移りが描く「小さな自然」の歳時記・2006

当初は種子播きしたシロツメグサ(クローバ)が岸辺や野原一帯にはびこり、単純な植生でしたが、年を追うごとに「ユニトピアささやま」(松下電器労連休暇村・兵庫篠山)から運び込まれた田んぼの肥え土や里山木の根っ子に付着してきた山野草が芽を出し、小さな自然ながらも四季に合わせた多様な植生に変化しました。

昨年は、120種を超える山野草と約40種の里山木の育ちを観察できました。アゲハチョウ、モンシロチョウにムクドリ、ハクセキレイ、アオサギなども飛来し、二つの池には、メダカが群れなして泳ぎ、大型のギンヤンマ、アオモンイトトンボなど5種がヤゴからの成育を確認できています。こんな自然ファミリーとのふれあいや四季の季節移りの様子をこめづくり体験とも重ね、この1年間を辿ると小さな小さな自然、「ここだけの田舎風景」の歳時記になりました。



雪景色、春のサクラ、初夏は田植え、池の水と戯れる子供たち、イネ刈り、秋の味覚、餅つき、四季折々の風物を実感、体験



このビオトープの育成・管理は、**MGV**中間のボランティアグループ、**ビオトーププロジェクト**が担当しています。作業・活動日は第二、第四水曜日10時から、但し7、8月は9時からです。作業に参加ご希望の方は**MGV**事務局へご一報下さい。

ビオトープ最新の様子は、グリーン叔父さんのホームページ：<http://www.hi-ho.ne.jp/shinpo/> でもご覧いただけます。

2月のビオトーププロジェクト定例活動日は14日(水)、28日(水)です。

松下グリーンボランティア倶楽部事務局 〒571-0050 大阪府門真市大字門真1006 松下電器労連ミュージアムプラザ内
(Tel:06-6901-0429 Fax:06-6901-9302 Pana-Van:7-679-524 Email: meu-mgv@gg.jp.panasonic.com)
MGVのホームページ：<http://www.meus.or.jp/mgv/index.html>